
死神の舞踏

瑠樹乃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死神の舞踏

【Nコード】

N1175I

【作者名】

瑠樹乃

【あらすじ】

ジャシン教のために飛段と優羅ががんばりますナルトキャラもいっぱい

第1部

これでいいんだよね…?? 悲しく映る一つの影
兄を殺め
里を出る後ろ姿

彼女こそが
ジャシンに見初められし
少女…
名は優羅

兄一人
妹一人
弟一人
悪魔と呼ばれていた4兄弟の2番目

生きた死神の異名をつかさどる

この少女が
この物語を駆け巡る

「はあっはあ……………」
駆ける足音とともに息切れが聞こえる

彼女が見上げたのは
暁のアジト

「確かここにジャシン教の信者が一人いるって話……気味悪いな……」

ギィイ

錆びた扉を開け

「すみません……」

声をかけるが

応答なし

「チツ」

かすかな舌打ち

足音が聞こえる

「誰だ………???女か……」

「っ!!誰??」

「用件を言え……」

冷酷な瞳は真っ直ぐにこちらを見ている
足がすくむ

「ジャシン教信者を探してるんですけど……」
腰を低くして言う

こんなところで殺されたらかなわない

そんな様子には気にせず

その男は中に入り足を止め

「ついてこい」と、ただ一言

彼女は黙ってついていく

部屋がたくさんあるが
すべて閑散としていた
気味が悪い

また男は足を止めた

「飛段。お前に用事があるらしい。来い」

飛段と呼ばれた男は

ダルそうに立ち上がり

こちらに向かって歩き出す

ビクビク

（不良みたいだなあ…こんなのと一緒やだなあ…）

飛「なんだあ…??女って、クソリーダーなんのつもりだよ」

入り口から案内してくれた男をクソリーダーと呼ぶ
暁のリーダーなのだろう

「黙れ。この女と話をしろ」と言っただけで部屋を出ていった

足音が遠退く

部屋には優羅と飛段の
二人きりになってしまった
ビクビク

「んで、なんだ??」

先に口を開いたのは飛段だった

「ジャシン様と呼んでいます。神殿に行かなければ…。」
簡潔に説明すると

理解したように静かにうなずき優羅の腕を引き

「じゃあ支度しろ。楽しみだぜハハハア」

「はいっ!!」

――翌朝――

目を覚ますと隣には

飛段の顔がある

「ぎゃあああああっ!!」

奇声をあげながら飛び退く優羅

うるさそうに片目をあけ

優羅をみる飛段

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1175i/>

死神の舞踏

2010年10月8日22時05分発行